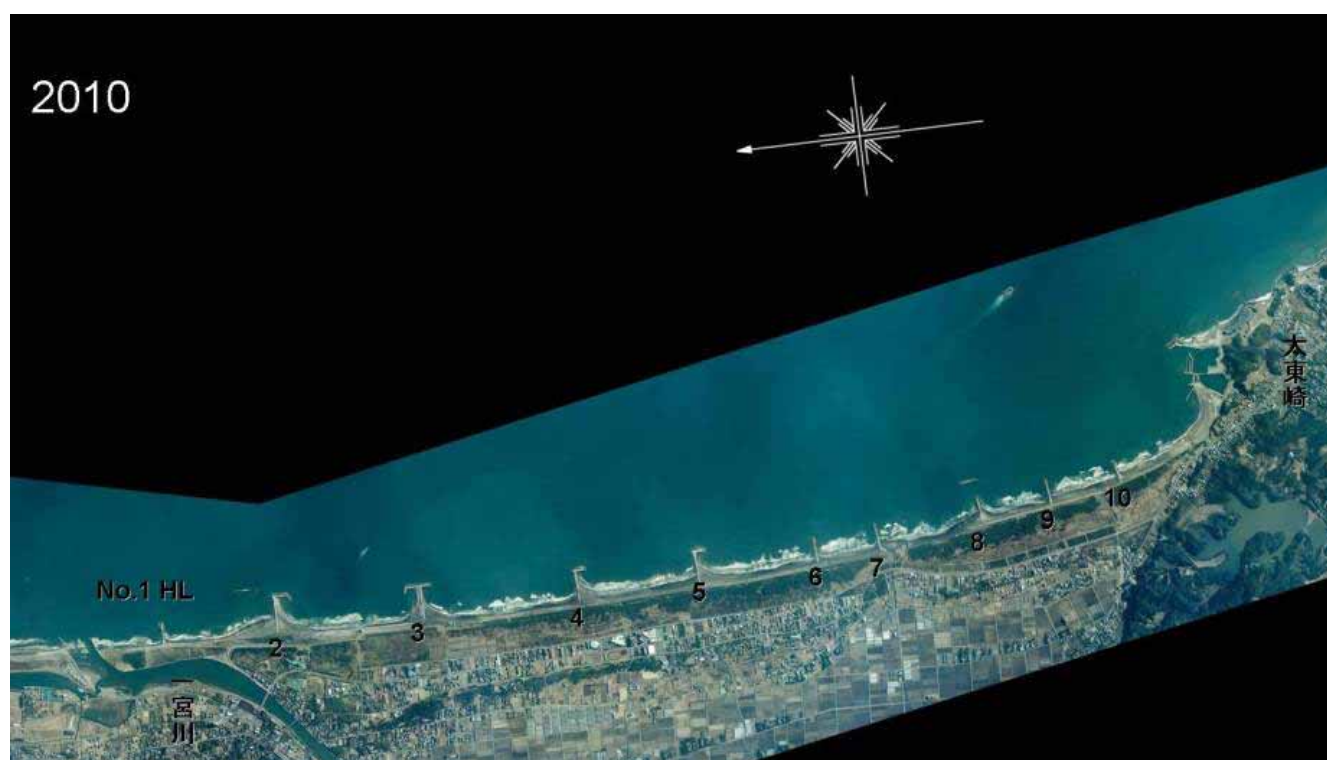


一宮海岸 侵食対策事業について

千葉県

侵食対策事業 概要

- S40年代後半から徐々に前浜が侵食
- 汀線が最大100m程度後退(約40年間)
(侵食速度:約2~3m/年)
- 侵食対策:S58年度から離岸堤、S63年度からヘッドランド工に着手
(全体計画:延長約7km、ヘッドランド10基)
- H22.4月現在の進捗率は56%
(事業費ベース、次頁写真の通り)



南九十九里浜養浜計画 概要

- 侵食対策事業により一宮海岸の侵食速度は低減したが、依然、汀線後退や侵食範囲の拡大が進んでいる。
- 侵食要因：夷隅川や太東崎からの土砂供給の枯渇
人為的な土砂供給：「養浜」を行う
- 「南九十九里浜養浜計画」
(H16年度より調査検討開始、策定会議の開催)
(H21.3月：養浜計画を策定 千葉県HP参照)
- 計画策定と平行し、H17年度より試験養浜を実施している。
(H21年度：HL23号間に3.9万m³を投入)

